一般財団法人　戸田みらい基金　（第4回建設に関する教育振興に係る助成事業）

＜活動報告書＞

フリガナ		サイタマケンリツオオミヤコウギョウコウトウガッコウ
①団体名・学校名		埼玉県立大宮工業高等学校
②担当者	フリガナ	
	氏名	
	所属 役職	教諭（建築科）
	TEL	
	E-mail	
③申請テーマ		模型製作を通じた地域連携事業
④活動期間		令和　４年　４月　～　令和　５年　１月
⑤活動内容 を記載		【活動概要】 　建築模型に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、建築の知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を身につける。また、完成品を展示し、説明を行うことでプレゼンテーション、コミュニケーション能力を高めることを目的に、さいたま市にある鉄道博物館（公益財団法人東日本鉄道文化財団）の協力を得て、鉄道博物館の建築模型を製作し、それを「高校生がつくる鉄道展」で展示、説明を行い、身近にある建築物の魅力を地域の人たちや校内の生徒へ伝えた。 【活動経過】 ６月　９日　事前打ち合わせ及び現地調査（鉄道博物館） ６月下旬～　７月上旬　仮模型製作 ７月下旬～１１月中旬　模型製作 ９月　２日　校内での中間報告 １０月３０日　鉄道博物館への中間報告 １１月２６日、２７日　「高校生がつくる鉄道展」にて作品展示及び説明 １月１７日、２０日　校内での活動成果発表（課題研究発表会）
⑥活動費用合計		200,000 円
⑦別紙説明資料 の有無		ある　・　なし

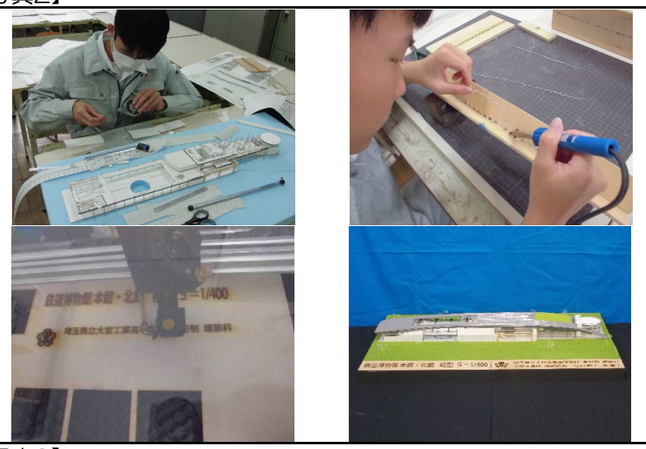
＜活動状況写真＞

【写真1】



（状況説明）
■事前打合せ及び現地調査（鉄道博物館）
　鉄道博物館営業部主任・新實様と生徒２名が打合せを行う。「鉄道博物館」の模型製作し、その模型を公益財団法人東日本鉄道文化財団が主催する「高校生がつくる鉄道展」へ展示することとした。
　新實様の説明を聞きながら、鉄道博物館の細部について現地調査を行った。模型製作をイメージしながら、多くの質問をした。また、意匠図面を提供していただけることになった。

【写真2】



（状況説明）
■模型製作
　提供いただいた図面をもとに仮模型の製作を行い、本製作する模型の縮尺を1/400に決定。スチレンボート、プラパン、針金等を主材料として製作を行う。屋根の一部を透明にして、内部や構造部が見えるように工夫した。レーザー加工機を使用して、スチレンボードの一部やMDF材を加工した。自分たちのイメージ通りに進まず、失敗や苦労を重ねたが、11月の「高校生がつくる鉄道展」までに完成をさせた。

【写真3】



（状況説明）
■プレゼンテーション
　令和4年11月26日・27日、鉄道博物館で行われた「高校生がつくる鉄道展」へ模型展示。イベントに訪れた一般のお客さんや関係者へ製作過程や作品についてのプレゼンテーションを行った。鉄道博物館館長の大場様からも激励をいただいた。また、１月には校内の課題研究発表会おいて、活動成果発表と作品展示を行った。